

おいね！おいよ！ 令和5年度2月 寝屋川市保育課

暦の上では春ですが、寒い日が続き、暖かい春の日ざしはまだまだ遠いようです。



【節分】（2月3日）と【食べ物による子どもの窒息・誤嚥】

旧暦では、立春が1年の始まりとされ、立春の前日である節分には、前年の悪を払い、新年の幸せを招くための儀式として『豆まき』を行うようになったと言われています。「福は内、鬼は外」といいながら、悪いものや災いにたとえた鬼に、豆をまいて追い払い、自分の年齢よりも豆を一つ多く食べて1年の無病息災を願います。

しかし、昨今では、子どもの窒息・誤嚥事故の予防のために、硬い豆やナッツ類は『5歳以下の子どもには食べさせないで』と、内閣府、消費者庁、厚生労働省等から注意喚起されています。保育所のおやつでも、炒り大豆は提供していません。

小さな子どもは喉が狭く、飲み込んだり、吐き出したりする力が弱いため、口に入れたもので喉を詰まらせ、誤嚥（ゴックンした物が食道でなく気管に入ってしまうこと）や窒息を起こすことがあります。特に、普段食べなれていないものには要注意です。

事故の原因は、食べ物の形状だけでなく、「食べ方」や「行動」が誘因になることもあります。

- 口の中に食べ物が入ったまま走る、寝転がる
- リクライニング状態で食べる などはリスクが高くなる恐れがあります。

安全な食環境の中で、最良の食体験ができるようにしていきましょう。

